

## 市議会議員との懇談会

日時：2020年11月17日（火）14:00～16:30  
場所：つつじが丘市民センター 多目的ホール  
出席者：理事 16名 市議会議員 3名  
事務局 1名

### □ 本田会長：

- 平成27年に組織改革を行い、18名の理事体制に移行し、生活安全部、環境部には各番町から委員を出して戴き、活動を行って来た。
- それなりの実績は、作って来たかと思っているが、環境と防災については、番町の理解も戴けたのではないかと思っている。
- これまで地区社協が行って来た事業を自治連合会が引き継いで3年目になる。これまでは人任せでいたが、自治連合会では力を入れて取り組みたい。
- これまで抜け落ちていた部分「高齢者福祉と子ども育成事業の推進」で、いくつか項目を挙げている。
- 子どもと市民センターに関する事は「つつじが丘・春日丘自治協議会」事業の位置付けで、子どもに関しては、両自治会で「子ども育成委員会」を組織付けて進める。
- 「子どもの居場所づくり」については「子ども育成委員会」が担う。
- 「南北集会所の有効活用による、世代間交流の場づくり」、現在はサークル活動と自治会活動がほとんどだが、これをもっと、地域の方が利用出来るようにしたい。
- 現在12人乗りのバス1台で運行している「は～とバス」、今後の高齢化は、他地区に先駆けて密度が高くなる事に加え、免許返上もあり、利用者が増えて来る。という事を予測しながら、どうして行くかを考えて欲しいというチームを立ち上げた。
- これにプラスして、齟齬のあった「自治協議会」「自治連合会」「市民センター」の会則を含めて一連の「会則改正チーム」も作り、誰が見てもわかる様な「会計システム」に替えて欲しいとの思いで、「会計改善チーム」を創った。
- 「空き地、空家の適正管理状況の改善」「生活支援センター」と協働して、コミュニティビジネス起業

を目指すPJチーム設置」は、「ねこの手事業」をもっと発展させ、従事する人、業務委託する人にも良い結果が出せるビジネス構築を目指すのが、行政との絡みもあり、調整しながらやって行きたい。

- 中学生との協働での「つつじっ子会議」では、地域をどうするか、どの様にコミュニケーションを築いていこうか、子ども達が一生懸命考えている。
- 小学校のPTAに関して、自治会と地区委員との関係が一切無く、誰が地区委員をしているのか、全くわからない、という状況であった。
- これではいけないという事で、自治会と子ども達、お母さんと自治会がもっと何か出来ないかという事で、試みようとしたが、一度だけほんの僅かな時間だけで終わってしまった。
- 夏休みのラジオ体操も、コロナの影響で中止になってしまった。非常に残念に思っている。
- 自治会の未加入者は、今850軒余りあって、防犯灯の電気料、防犯カメラの負担金は一切負担をしていない。すべて一般会員の会費の中から支払っている。これはおかしいのではないかという話があって、番町役員にも討議に加わって貰い、結果としては（新たな差別を生むかも知れない）（集金をする人が嫌な思いをする）等、新たな問題が出て来た。
- よって、交付金の一部、廃品回収費の一部を使用して、未加入者分を賄い、新たに徴収するという事は取りやめた。
- 18の番町において、「番町の防災」、災害が起きた時に、自分がどの様な行動を取ればよいのか、という事を書いた番町の「防災マニュアル」が出来た。
- ところが内容は千差万別、で不備が多々みられたので、今年は、この番町防災マニュアルの見直しを行った。これを生かしてより良い安心して暮らせる「つつじが丘」のまちづくりに、つなげたい。
- 我々が市にお願いしている事を、議員各氏にバックアップして戴ければ、有難いと思っています。

### □ プロジェクトチーム「は～とバス利便性向上」 湊先理事：

- まず初めに考えた事は、今のバス1台で今後もやって行けるのか？という事で、今後の高齢化に伴い、運転免許証の返上等で、利用者が増えて来る事に、対応出来るだろうかという事で、どこかで資金を工面してもう一台バスを走らせなければいけないだろう、という事と、もう一つは、他地区で行っている軽自動車での個別送迎の二つを纏め上げればいかなど、思っていたのだが、今回は「は～とバスの利便性向上」という事で、「は～とバス」について

を優先して行う事にした。

- ・ 第1回目のアンケートでは、現在「は〜とバス」を利用者を主体に行ったが、要望が出て来た。
- ・ 月・水・金が北回り。火・木・土が南回りだが、これを半年毎に交代して欲しいという事であった。
- ・ もう一つは「ヤオヒコ」の前のバスの待合。雨の日や、日差しの強い日は困っているので、日除け、雨除けを付けて欲しいとの要望があった。この件は、何とか実現に持って行きたいと思っている。
- ・ 午前は団地内周回、午後は買い物バスとして、月・水・金は夏見ピック経由のピバホーム、マンダイ。火・木・土は夏見のピック経由の蔵持マックスバリュに行っているが、定員オーバーになる日もある。
- ・ は〜とバスを知ってはいるが、どういう目的で運行しているのか、よく理解が出来ていない人が多い。又、行先をもっと沢山増やして欲しい。との要望もあるが三重交通の路線は、走れないというルールを知らない方も多い。
- ・ 2回目のアンケートは、今後「は〜とバス」の利用を考えている方がどの位いるのか、を掴んでおくために75歳以上で、同居に車を運転する方がいない方を対象とした約650名。
- ・ 現在検討中、一年後には使いたいのが80名強。これが正確な数字かどうかは分からないが、逼迫した状態が真近にきている。
- ・ 現在の運営資金は1台分。2台目導入の余力はない。これをどうして行くかが大きな課題。

## □ プロジェクトチーム「施設の有効活用」

### 片山理事：

- ・ こういう事については、我々だけではなく皆様からのご意見等々を、反映させなければいけないという事で、8月に「子ども育成委員会」が行ったアンケートも参考にしている。
- ・ 10月に一般住民300名から、アンケートを取り今後どの様な設備を付帯すればいいのか、どの様な活動を付帯すればいいのか、の参考にさせて貰ったが、これについては、中々意見が纏まらなかったが、ようやく先月末に草案が出来、今後予算化を進めて行く事になる。
- ・ 大体来月中旬に纏め上げ、1月に答申書を提出する運びになっている。
- ・ 集会所設備の中にWi-Fiの設備を付けて、大人にもそして、子どもにもインターネットを使って楽し

んで戴く事を考えている。

- ・ 現在の南集会所には、立派な厨房設備があるが、北集会所は脆弱な状態にある。
- ・ 当初は、南北集会所は差別化せず、同様な設備を付けるという事を考えていたが、建物の構造上問題もあったが、ある程度の方向付けは出来たと考えている。
- ・ この設備への当初の投下費用、運用費用が350万円位かかる。各施設に配置する方達の人件費、施設の必要経費を入れると、月々の運営費は60万円程。
- ・ これだけの金額を連合会のみで負担をするというのは無理があり、何らかの形で行政からの支援を戴ければ、我々としては有難い。

## □ プロジェクトチーム「コミュニティビジネス」

### 大内理事：

- ・ 2019年に208軒あった空き家が、2020年に230軒、空家については今後も増えて来るのではないかと心配している。
- ・ 適切に管理している所や、住宅でも別荘というのは心配していないが、身内で管理している、持ち主が施設に入所している、というのが非常に多い。
- ・ 実際の空き家の状態は、樹木がはみ出している等というのは約100軒ある。
- ・ これに対して、どの様に取り組むかという事で、プロジェクトが始まった。空き地についても同様な状況にある。
- ・ 取り組む上で問題になったのは、空き家、空き地の所有者が解らない事で、空き地については昨年まで、市の方から所有者リストを出して貰っていたので、自治会と理事の連名で「お願い文書」を発送していたが、今年度から個人情報の絡みで、開示出来ないという事で、管理状態の悪い所は一覧にして、市に提出し、環境対策室から所有者に文書の発送をするという形に変わった。
- ・ 消防署の話では11月に調査し、文書を送付。2月に再度調査して「指示書」として送付する。
- ・ 市の方は10月には、既に文書を送付しているという事であった。
- ・ 市では文書送付から、1ヶ月の余裕を見て、除草時期を通知するためのハガキを送る。ハガキに対す

る返答をくれた地主は良いのだが、そうではない地主には再度文書を送付する。という手続きになっている。

・ 現在はその様な状況で、空き地、空き家共に、市に

守られた形になっている事を、何とか出来ないかという事で話を進めて来たが、空き地については、市の状態が我々には全く掴めなかったが、進捗状況を随時報告して貰える様になった。

・ 問題点として「ねこの手事業」に所属している人員

は14~5人、常時動けるのは9人で皆さん高齢化が進んでいる。

・ 自治連合会、生活支援センター、名張市営繕住宅環境対策、名張市消防所の環境調査室が会合を持ちその中で、空き地に対して従来の形に戻せないか。空き地所有者のリストを出して貰って、我々が文書を送る、昨年までの形に出来ないか。という事を再度検討して貰うという事になった。

・ 空き家になりそうな家が解かるのは、「まちの保健室」「高齢者の施設」「民生委員」「近隣住民」だと思

うが、これを取り纏めるような方法はないのか。というのが課題。

・ 空き地、空き家に対して所有者を知るために、閲覧

は出来るが、納税証明書（実際に納税している者）を取得する事は我々には出来ない。土地所有者については閲覧は出来る。

・ 消防は従来空き地だけの調査をしていたが、今後は空き家についても調査をして、通知をして行きたいとの事だった。

・ すぐに答えは出ないと思うが、何かあれば協力戴けるのではないかと考えている。

#### □ プロジェクトチーム「規約・会則の改正」

##### 小引副会長：

・ 基本的に3つあり、「自治協議会規約」「自治連合会会則」「市民センター管理運営委員会会則」を中心

に見直している。

・ 平成21年に出来た「自治協議会規約」はつつじが丘と春日丘が合併した形のものだが、これまでは「総会」というものがなかった。

・ 6月に出す名張市への報告は、協議会で行った事を報告するのだが、資料としては無いので、両自治会

の「総会」資料を提出していた。

・ 来年から協議会は独自の「総会」を行い、「自治連合会総会」には、協議会の事は掲載しない。

・ 「自治連合会」と「市民センター」には細則が沢山

あるが、これはそれぞれの会議内において、処理出来るのでそちらに委ねたい。

#### □ プロジェクトチーム「会計システムの改善」

##### 小引副会長：

・ 「自治連合会」の会計が、余りに細かくて解かりに

くい、もう少しまとめて簡素化する様にしている。

・ 会員から戴いた会費の使用方法が数字だけになっているが、これを歳出、歳入でどの様に使われているのかを、グラフで見せるようにすれば、解りやすくなる。

・ 色々な事業をするのには、名張市からの「ゆめづく

り交付金」が、大半である事を解って貰うために新たな表づくりをやっている。

##### □ 本田会長：

・ 名張市に要望している事は、「空き地の管理」除草の督促に関しては、従来の方法に戻して下さい。という事をお願いしている。

・ 何故かという「個人情報」という大義名分の基に、これまで貰えていた所有者リストを貰えなくなった。そのため所有者とのやり取りが、1ヶ月遅れる様になった。

・ 今は、市の方が対応するので、様子が分からない。

・ 基に戻せないという事であれば、我々が直接所有者に文書を送りたいが、5筆300円の費用が掛かる。こちらに管理をさせるのであれば、安くしても良いのではないかと。

・ 名張市が「空き地」「空き家」に関して文書を送付する時に、「つつじが丘自治連合会は、除草に関してこの様な取り組みをしている」というPRをさせて欲しいとお願いをしたが、これについては、了承して戴いた。

・ ゆめづくり協働事業交付金は、昨年までは100万円、令和2年度は65万円而来年度は0になったが、事業資金なら個別に申請すれば、令和3年度は間に合わないが、令和4年度から考えてくれる事にはなった。

##### □ 富田市議会議員：

- ・ 地域の課題に取り組んで戴き、有難い事だと聞かせて戴きました。
- ・ 私、生活調査部会に入っております、都市振興

#### 税

- が5年を経過して、廃止になるという訳ですが、約8億円が令和3年度からなくなる。この都市振興税は名張市独自の福祉政策に使って来たもので、どの事業も大切な事業ですが、5年間という約束だったので、8億円がなくなると、今後どうするかという事で頭の痛い処です。
- ・ 行政サービスを下げような事にはしたくないし、かといって財源が無い。
  - ・ お話聞かせて戴いて、ほんとに生活に密着した話ばかりで、つつじ地域だけではなく、空き家、空き地の問題や、子どもの居場所づくりや、少子高齢化は他地域でも課題になっている事です、特につつじが丘は先進的に取り組んで戴いているので、今聞かせて戴いた話を心に秘めて、今後上がって来る財源に対する意見も自分なりにしっかり持って置きたいと思います。

#### □ 常俊市議会議員：

- ・ つつじが丘の皆様には地域のために、安心・安全を  
守って戴き、また、子ども達のために活動して戴き、ありがとうございます。
- ・ 今日のお話を戴き、前回評議員会議事録と総会資料を拝見し、コロナ禍の中での今後の方向性というのは、大変な中で進めて行かなければならないと思いますが、コロナ禍の中の「新しい生活様式」を考えた上での、つつじが丘の暮らしや、行事の方法を、考えて行かなければならないのという事は、思いました。
- ・ 人が集まり、密になる様な事は出来ないが、それに  
代わる取組を、考えて戴けるのではないかと思います。
- ・ 空き地の問題等も、いわれる通りだと思います。
- ・ 法律の壁もありますので、すぐという訳に行かないと思いますが、懸念されている事は同感です。
- ・ 「自治協議会」「自治連合会」2つの組織の「総会」を行うという事をお聞きしました。大変有意義な事で、今まで何故なかったのかをお聞きしようかなと思っていました。
- ・ 春日丘だけではなく、「南中学校区」という事で国津地区も含めた、連携した「地域づくり」という、名張市内でも一歩先を見据えた取組みを、つつじ

が丘地区の皆様にも、お骨折り戴けたらと思います。

- ・ 自治会長が、事業を行う事を決め、次年度の会長は「引継ぎ」だけで、中身も良く解らない事業を行わなければならない。という件がありましたが、まさしく繋がるためには、新会長の下で旧会長がバックアップする様な、仕組みづくりが出来れば、みんなが、どんな取組みが行われているのかが解かる、つつじが丘地域になるのではないかと思います。

#### □ 足立市議会議員：

- ・ いつも地域のために、ご尽力戴きありがとうございます。
- ・ どれに関しても予算という物が絡んで来るので、市全体の予算から、お話をさせて貰いたいと思います。
- ・ 道路に関する資料「道路（一部歩道含む）舗装・補修」を配付させて戴きました。
- ・ 左側と右側は、書体を変えています。左は**地方交付**

**税に含まれる、国からの交付金**を含むもの。右は**名張市の一般会計の予算**を使って出来るもの。

- ・ 期末に予算配分される、国の**地方交付税交付金**は、国の方針に左右される。
- ・ 今までであれば、道路舗装とかにも付いていたが、昨年度から特に、国土強靱化（避難所、災害対策）に関するもの。長寿命化、通学路を重点的に国の道路に関する交付金は付き始めた様です。
- ・ 本来であれば、つつじが丘のバス道路、幹線道路に

道路補修に入る予定であったが、国からの交付金が方針に左右される事もあって、今年は国からの予算が、国の**重点的**なものに関しては100%付いてくる。その余りを、他の事業で使う。その結果「百合丘」の舗装をする予算しか付かなかった。それは、国の重点項目に該当するのと、名張市の判断の基で決定された。

- ・ 「名張市の一般会計」は大きく3つあり、① 道路補修だけではなく、管路の老朽化に伴い更新を行う事に合わせて、(年次計画の基)道路舗装を行う。② 日々の補修。③ 地元の要望。
- ・ 現状：昨年度は8,400万円。今年度は7,400万円で、① 2,000万円 ② 2,000万円 ③ 残りやりくり。地元の要望について、どの様にしているのか。基本的には要望順だが、要望も緊急性の高いもの、低いものがあるので、担当者が現場を見て判断をする、という事を残り3,400万円でやっている。

- ・他のもの、例えば 空き地除草、は〜とバス、ゆめづくり交付金についても、ほぼ同じではないかと思っている。

#### □ 湊先理事：

- ・空き家対策について、営繕住宅室の対応が非常に遅い。私も何度か行っているが、地域からの要望も一緒に持って昨日も行って来た。
- ・特定空き家にフローチャートというのがあるが、流れだけで期日が何も入っていない。
- ・お願い文書を出してから、何ヶ月経てば次のステップに行くのか、期日がないため、今年の6月に出してからいまだに何の進展もない。
- ・今日3名の議員が来られているが、名張市全体の事を考えるのが市議会議員だと思っているので、つつじが丘だけではなく名張市全体で空家が増えて来る、近隣の方本当に困っている。
- ・どこの地域の方々も同じ思いを持って居ると思うので、このフローを見直し、期間を明記して何ヶ月たてば取り組むのか知らせて欲しい。
- ・それから、緑地の除草にせめて補助金を出して欲しい。空き地に関しては地主に、除草を促す事が出来るが、緑地はどこの管理か？ 名張市の管理のはずだが、ほったらかしになっている。
- ・見かねた自治会が、自発的に行っている。これはすべて自治会の持ち出しになっている。除草を行っている地域に対して、何らかの補助金を出す様、考えて戴きたい。

- ・大きな問題として、全国でも問題となっている、

ナ

ラ枯れの対策、名張でもあちこちで見られて、倒木の恐れがある。市の職員は必死にやっている、いつも感謝している。しかし、費用が出ないから職員が困っている。

- ・要望書を出しても費用がないので動けない、つらい立場で頑張っている。
- ・財政が無い無いではなく、無いなりに工夫して、「ナラ枯れ対策費」を新設して戴きたい。
- ・「は〜とバス」に関して、事情が解ってきたら三重交通の路線が廃線になった所と、つつじが丘地域への補助金のルールの違いは解かるが、つつじが丘の立地と、どのくらいの住民が利用するか、を考えると、今の補助金額では足りない。利用者が溢れて来る。この辺りを汲んで戴き、ご協力をお願いしたい。
- ・最後に厳しい事をいいますが、住民の負担増に関して、本年度初めに、ゴミの収集法が変わった。それに伴いゴミ袋代の負担が増えた。

- ・国民健康保険料も変わった。色々な形で住民に、市の財政が厳しいからと、負担を求めるとであれば、自ら身を切るべく、市長、市議、管理職の報酬カットの方針を出した上で、「住民の皆様、お願いします」という姿勢で、お願いしたい。

#### □ 足立市議会議員：

- ・色々ご意見ありがとうございます。
- ・まず、空き家対策に関しては、フローチャートを拝見して期日がないという処は、いなければならぬと思っています。
- ・ただ、相続の関係で持ち主が解っているが、すぐに連絡がつかない所というのは、遠い所に親族がいる、亡くなった方と直系ではなく、縁が切れているに近い親族の方が引き継いでしまって、その方も実質的には要らない物件であったりする確立が高い。
- ・今日の空き家調査物件の中で、南5番町・南4番町の物件だと、現在の状況は事細かく書いてある。持ち主がその方で、ご家族等々関りがある方が、どこにいるかの情報は近所の方は、よく知ってらっしゃるのが解かる調査表になっている。
- ・多分ですが、名張市がそこまで調べられているかということ、無いと思います。それであれば、こういった情報を、市と共有する事によって、取り組みやすくなるのではないかと思います。
- ・緑地に関しては、なんとも申し上げられないので、意見として聞かせて戴きます。
- ・ナラ枯れに関しては、私の感じでは名張市の敷地、名張市所有の山のナラ枯れに関してはすぐに対応してくれます。目に付くナラ枯れは個人所有の木だと思われれます。
- ・もし、そうでなければ、おっしゃって下さい、名張市はすぐに対応してくれます。私が把握している中では、個人持ち主のナラ枯れの木に関しては、中々対応をしてくれない事があります。その辺りを解決して行かないと、難しいのかなと思います。
- ・は〜とバスの支援金は、何らかの形で市がしなければと思いますが、苦肉の方法の一つとして、社団法人とか各種の財団等が補助金を出していますので、そういった事をご検討戴けたらと思います。
- ・最後の市長はじめ議員の給料について、先日新聞記事で県の職員の方が、ボーナスをカットされたという事で、それでたしか5億円位浮いてくるという事だったかと思いますが、そういった方法もあるのかなと思います。

- ・ 越えなければならない壁もありますけれど、市民の皆様に痛みを与える以上、同じ思いをしなければならぬのではないかと思います。
- ・ 国民健康保険に関しては、実は今までずっと皆様の負担を増やさないでおこうという事で、維持をして来ました。
- ・ 上げるタイミングはあった事はあった、全国的に値上げをした時期があり、そこに乗じてあげればよかったのに、若干の余裕があったので、やりくりしながら来たが、それも尽きてしまったので今回の処置になりました。

#### □ 片山理事：

- ・ 実は私、疑問でならんのは、平成27年版の名張市の「防災マップ」の中で、第一次緊急輸送路、並びに第二次、第三次という書き方をされて、それぞれが色分けされているが、これについて何故一次、二次、三次という表現にされて、いざ緊急事態になった時に、どういう運用分けをされているのかが1つ。
- ・ 第一次は幹線道路、これは解かる。第二次緊急輸送道路というのは、市民病院、市役所がターゲットになっており、こういう考えになっておるのが1つ。
- ・ つつじが丘については、第三次緊急輸送路に指定されているが、市民センターが指定されずに、なぜ上の運動公園が指定されているのか。いざ災害という時にあの遠い運動公園まで、わざわざ物資を取りに行かなくてはならないのか。
- ・ 第一次、二次、三次の緊急指定道路の使い分けは、どの様にしているのか。
- ・ この様なマップだけ配付されても、緊急輸送道路は災害時には、通行不可なのか、許可車両のみが通行出来るのか等、何も解らない。  
マップ配付だけではなく、緊急時にはどの様な対応をすればよいのか、書いて置いて貰いたい。

#### □ 足立市議会議員：

- ・ 第一次は165号線、第二次が368号線、道路によって優先順位が分かっている。165号線は奈良に抜ける道になるので、海側から奈良を通過して名張に運ぶ、これが、不可能であれば上野方面から運んでくる、という様に理解している。
- ・ 第三次緊急輸送路は、第一次、第二次から離れている所で、「すずらん台」「つつじが丘」「名張旧町」「桔梗が丘」に繋がる路線等が、第三次になっている。
- ・ その中でつつじが丘はなぜ市民センターに止まらないのか？ 多分ですが、小学校と市民センターは

隣りあっているんで、その近くを通る。ここまでこれない方は、上の方にいらっしゃるので、南5番町の運動公園を、第三次に指定しているのでは、ないかと思います。

#### ● 後日、詳しい事を調べて回答する。

#### □ 溝延理事：

- ・ 除草について、南2番町の住民から何とかして欲しいとの依頼があり、今年からシステムが変わって、私から地主に督促状を出す事は無いといったのだが、結果的には、こちらの電話番号を書いて、除草のお願い状を出した。昨年まで除草をしてくれていたが、今年はまだなのでその様にしたが、返答がない。
- ・ 依頼者は喉が悪く、セイタカアワダチソウやススキが害になる様で、穂が出る前に除草をする様指導するのが重要だと思う。
- ・ 駐車場の草が生い茂っているので、何とかして欲しいという事があって、駐車場の連絡先を調べて、コンタクトを取り、契約成立し「ねこの手」で除草を実施した事もある、ビジネスに繋げるなら営業マインドでやっていかねば続かないのではないかと。
- ・ 空き家のデータに関して、転居する人があった時に近隣の人は将来の事を考えて、空き家対策のために、連絡先等を聞いて置く等の仕組みが、必要ではないか。
- ・ 地震の時の件だが、避難所に入れないので、家族で自動車内避難者生活をしたという事がいわれていた。名張でも「自動車避難」というのを、選択肢として取り組むして貰いたい。

#### □ 足立市議会議員：

- ・ 国交省が災害発生直後から、避難救助を始め物資供給等の補給活動のために、緊急車両の通行を確保すべき重要な路線を第一次、第二次、第三次の区分を国交省のホームページに載せている。
- ・ つつじが丘はヘリポートが小学校と南中学校だけで、物資はここまで取りに来る事になる。
- ・ 何故、皆様の処に防災マップが届いているかというところ、そこにヘリポートや避難所、避難地等ドクターヘリが止まる所というのが記載されているので、先ずこれを見ていただいて、皆さんの避難所はどの様な役目を持って居るものなのかが、解かるようになってくる筈なのです。これを読み解いておいて戴きたいと思います。
- ・ ヘリポートになっている所に避難した時、どうすればいいのかが、名張市の危機管理室から皆さんの所には連絡は来てないと思います。
- ・ ヘリが下りようと思うと、砂塵が舞わない様に水を

撒いたりとか、どれだけの広さを確保しなければならないとかは、ある程度決まっている。

それを皆様知って戴く事によって、スペースの確保が出来るし、ヘリが来ると分かっているならば、事前に水を撒いてヘリを待って貰える。

- ・ヘリポートであったり、避難所等は指定され、緊急輸送路はあるという事は解ったが、いざ災害時に住民はどうすればいいのか等、細かい所が決まっていなくて、そういった質問が出て来るのだと思います。

#### □ 本田会長：

- ・防災に関しては、27年から生活安全部会、環境部会を3~4年やって、やっと何とか第一歩が切れた位の処です。
- ・災害が起きた場合、このつつじが丘ではどのタイミングで、「つつじが丘災害対策本部」を設置するのか、どういう形で設置するのか、一切決まっていなくて。
- ・この3年かけてやっと番町の安否確認等の制度は作ったが、一步一步やって行くしかない。個人の備蓄、自治会の備蓄にしても切りがないから、やるべき事は沢山ある。
- ・我々としては、住民が困らない様な事から順次やって行くしかないで、優先順位を考えておかなければならない。
- ・最大級の東南海地震が起きた時に、名張でどれ位の倒壊家屋が出るか、つつじが丘でどの位出るか、その時どの位の避難所が想定されるのかも、押さえていない。  
これを押さえてどの位の避難所にするのか、どんな対策本部にするのか、をやらねばならない。宿題は多い。
- ・一昨年、番町には最高10万円を限度として80%の事業資金助成をしているが、各番町の備品購入は終わった。令和3年以降は事業に対してのみに助成する。その中で来年度の予算を今年度の役員が申請している。旧役員が立案した事業を新役員が実施する事になる。
- ・新旧の役員が話し合いをして、事業内容変更の猶予を7月まで出来る様にしている。
- ・構造的な問題があり、一年毎に役員が替るので、継続性が悪い。それを変えようとする、かなりの労力が必要になる。
- ・行政の空き地、空き家の視点では、我々住民が困っている事が解決出来ない。
- ・確かに法律の壁があるかも知れないが、そこは知恵を絞れば、何とか出来るはずだと思っている。

知恵を出すのが、我々住民であり、職員であり、市議会議員であると思う。

- ・尚且つ、無駄な金を使わず、効率を上げる。つまり民間の知恵を借りる、民間のやり方を学ぶ事です。
- ・行政の常識や、市議会議員の常識は、民間の非常識ですよ。それくらい考えて丁度いい、それによってお互いに歩み寄れる、自分が絶対正しいでは、纏まらない。
- ・空き家の件に関して、不動産屋の知恵を使いなさい、という事です。不動産業者を一堂に集めて、“あなたが管理する不動産、一斉にやりなさい”と何故いわないのか。  
そういった事をしないで、特定空き家のフローチャートを創ってる、目の前で困っている住民をどうやって助けるか。  
そこが役所の条例とか法律の壁とか、常識と外れている処であり、またそれを我々も言い訳にしているのかもしれない。もっと謙虚になって考えて行かなければならない。
- ・自治連合会の構造的な問題に関しては、平成27年からやって来たけれど、100%であったと思っていない。こつこつ少しづつ変えて行っているが、これも見直して将来的に見たら、20年30年先には、自治連合会という組織はないかも知れません。
- ・完全消滅して、民間業者が有限会社を創って、そこが自治活動を請け負う、という事になっているかもしれない。
- ・我々は、どうやって知恵を出して解決して行くか、だけしか見ていないので、皆さん方の側面からの支援が欲しい。
- ・これはこうです。といわれたらもう終わりです。そこを何とか、駄目かもしれないが、何とかしたい。何とか、お知恵をお借りしたいというのが本音です。よろしくお願ひしたい。

#### □ 足立議員：

##### ■ 東南海地震に関して

- ・基本、名張市民は名張市の避難所に避難する。
- ・教室を改造して、海側の方を受け入れるので、住民の避難所は確保出来ています。
- ・名張市としては市民9,000人分の物資の準備はしているが、全て揃っている訳ではない。
- ・名張市では、震度5~6が想定されているので、自宅避難をする事が、十二分に考えられるので、自宅で避難出来るような、物資を揃えて置いて置きたいと思ひます。

##### ■ 要望に関して

- ・ 地元の要望を、きちんと伝える事が大事で、新桔梗が丘中学校前の歩道を整備している。
- ・ 本来であれば、普通の歩道整備で予算を上げていたが、知恵を使いまして国の道路交付金を戴くために、新桔梗が丘中学校は避難所であり、避難地であり、ヘリポートであり災害対策の場所なので、担保を付けて欲しいと名張市が要望を挙げて、100%の予算が付いた。3年かけて実施します。
- ・ 3年間は予算が付いているが、その後はまだ付いてません。歩道整備をしながら街路樹も整備する、つまり、ただ単に街路樹が歩道を盛り上げていているというだけではなく、歩道を直して欲しいと、そのまま言うとおくと、市としてはどの予算が使えるかという事を考えてくれます。
- ・ 要望は 基本先着順といっているが、常に出来るだけ早く上げて下さい。
- ・ 空き家に関しましては、名張市に「空き家バンク」がありますが、今色々な市町が「空き家バンク」をやっているの、アクセス数が少なくなっている。
- ・ 「家市場」というサイトがあり、そこに登録が出来るので、全国から見て貰えるので、結構な件数空き家を見せて欲しいという要望がある。

□ 富田議員：

- ・ 法律の壁というのはあります。法律に基づいてというのは根底にありますが、市議会議員としては、条例づくりも役目で皆様の声をしっかり聴いて、どの様な求められているか聞きながら、条例づくりにいかし、法律的な事は国会議員に繋いでいく、議会でも意見書を出したりして、時間はかかりますがしっかりやって行きたいと思えます。

□ 常俊議員：

- ・ 名張市はコロナで「空き家バンク」結構問い合わせがあるように聞いています。情報としてひとつ。
- ・ また今日の懇談会を糧に私達も議員として頑張ってますので、これからもよろしく願いいたします。

□ 湊先理事：

- ・ 私が噂に聞いている事と、感じている事を。
- ・ 昨年防災訓練で、私達の地区は南中学校が二時避難所になっているので、二次避難所がどの様な状況になっているのか、何人位収容出来るのか見に行っただけです。その時一緒に行ったメンバーが、こんな所に避難して来るのは怖い、天井が落ちないのか、殆どの方がその様に思っていた。
- ・ 一つはどうなのか分からないが、法律の壁という

のか、何年度の耐震基準で建設されたものと、されたものでない、それで小学校と中学校の違いがあると、聞いているが、今議員さん方分かっている範囲で、南中学校の第二次避難所として、名張市は今後どの様にして行くのか情報をお持ちであれば、教えて戴きたい。

- ・ もう一点同じ様に、噂程度に市民センターは盛り土なので、市民センターの耐震はあぶないよ、と耳に入って来る。

という事で、南中学校は本当に第二次避難所として安全ですか？

対策本部を設置する、市民センターは耐震は大丈夫ですか？ というのを教えて戴きたい。

□ 富田議員：

- ・ 名張市の小・中学校の体育館の耐震工事は終わっています。
- ・ 市民センターに関しても、避難所として基準に合わない処は、耐震工事を進めていますので、大丈夫なはずで。想定外なら分かりませんが、基準には沿っています。

□ 常俊議員：

- ・ 市民センターは大丈夫です。

□ 栗木理事：

- ・ 今、中学校の話題が出たので、以前から気になっている事を伺います。
- ・ 中学校の給食実施の事をいわれて久しいと思うが、名張市のホームページで見ても、市長の手紙に投稿されている方もいるし、28年頃から検討がなされてから、5年以上経っていて、うちの娘は中学一年ですが、給食があるよ といっているが全然ない。
- ・ これはあるのか無いのか、話題にもならないのか、出来るならやって欲しいと思うし、子育てしている人は同じ思いをしている人は多いと思う。
- ・ 生活者の意見を汲み上げて、議会で取り上げて戴きたいと常々思っています。

□ 富田議員：

- ・ 給食に関してですが、勿論議題に上がっています。ただ、社会状況の中で急な耐震工事が出たり、温暖化の問題で空調設備が先になったり、給食が後になりましたが、計画としては次に上がっています。
- ・ 5年前に名張市全体でアンケート調査をしました。保護者の方は、ほぼ給食をして欲しいという事でしたが、生徒さんと学校の先生のアンケート結果が、お弁当がいいという意見が多かった。そんな事もあって、少し現場を見て、という事もありましたが、次の議題には上がっております。

以上

|        |          |
|--------|----------|
| 書記：事務局 | 文責：総務 江越 |
|--------|----------|